



## あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会  
令和3年5月1日 第40号 委員長・高橋秀通 編集・北條昭吾

### コロナ感染予防のため 浅川ダム天端での鯉のぼり掲揚は中止！

県浅川改良事務所と浅川住自協活性化推進委員会では春の連休に浅川ダム天端に鯉のぼりを掲揚する準備を進めてきました。しかしコロナ感染予防の為浅川ダム天端での鯉のぼりの掲揚は中止することになりました。

県浅川改良事務所と浅川住自協活性化推進委員会では4月7日に浅川ダム利活用懇談会を開催、4月8日には鯉のぼりの天日干しなどを行い掲揚できる体制を探ってきましたが4月19日正式に中止を決めました。



### 初体験！浅川小3年生54人が坂中でジャガイモ5個ずつ植える



浅川小3年生2クラス54人は4月15日(木)恒例のジャガイモの植え付け体験を坂中の畑で行いました。

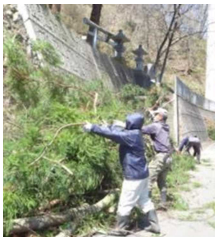
児童は住民有志が耕した畑でジャガイモの植え方の説明を受けました。1人5個のジャガイモと肥料を受け取ると掘ったうね間に切り口を下にひとつずつジャガイモを置いていきます。「ジャガイモの横に肥料を置くと

大きくなるよ」と地元の人の説明を受け肥料を置いていきました。

ジャガイモ植え付け体験は初めての児童がほとんどで「植えるのが初めてで肥料くれるのが難しかったが楽しかった」「貴重な体験できた」「坂中地区の人に上手におしえてもらって楽しかった」など児童は満足の様子でした。植え付け後、坂中の有志が畑の手入れを行い収穫体験は夏休み後に児童と一緒にを行う予定です。

このジャガイモの植え付け、収穫体験は、平成14年から行われているという事です。山本教頭先生によると「ジャガイモの植え付け、収穫体験に地元の皆さんが一生懸命応援してくださるのは私は聞いたことが無い、ありがたい事です」と感想を述べていました。

### 八榎神社表参道入り口清掃と杉枝打ち、拝殿入口の杉も枝打ち！



「チームフロンティア・浅川」は4月11日(日)ブランド薬師(八榎神社)表参道入口の清掃を行いました。また「チームフロンティア・浅川」「薬師神社保存会」氏子の「ブランド八榎神社」浅川押田在住の特殊伐採技術者・行本光太郎さんによって参道入り口の杉の下枝、ブランド薬師入口の杉の枝打ちをしました。

今回の清掃作業・枝打ち作業には21人が参加、参道入り口階段付近の杉葉掃除から仙郷滝までの道路沿いの笹、雑草、木、U字溝の泥揚げなどを行い綺麗になりました。

参道入り口、ブランド薬師入口の杉の木では太さ12mmのロープにぶら下がりながら、安全ベルトと固定ロープなどを巧みに使いながら電動チェーンソーで下枝の枝打ちをしました。

### 氏子の「ブランド八榎神社」がブランド薬師入口手すりを杉材で改修



ブランド薬師(八榎神社)入口鉄製の手すりが腐食していました。4月9日(金)氏子の「ブランド八榎神社」によって杉材の手すりに改修されました。

鉄製の手すりは昭和36年ブランド薬師の木橋から橋の代わりとなるコンクリート回廊に大改修時、鉄製の手すりが付けられました。新しい手すりは4m60cmと2m40cmの杉材に金具でコンクリートに固定され、防腐剤を数回塗り仕上げました。

### 「あさかわの里山と森を守る会」が民有地の里山整備

浅川地区の里山整備活動を行っている「あさかわの里山と森を守る会（会長鶴田敏光氏、略称・守る会）」の会員11人は今年度最初の里山整備活動を4月6日（火）浅川西条の私有地で行いました。



会員は雑木林の斜面でヘルメットをかぶり作業着姿で伐採木の引出し、長さ40cm薪用の玉切り、キノコのホダ木切りなどチェーンソーで用途に切り分けていきます。薪用の木、ホダ木は運搬作業車でトラックがいる場所迄運び出しました。

「守る会」は昨年里山整備活動を、浅川地区で年間15回、参加人員延べ133人。他団体への作業協力として「二十一世紀の生活を考える会」年間6回参加延べ人員25人。「炭房ゆるくら」年間6回、参加延べ人員40人が里山整備活動を行いました。

## 浅川ダム上流一之瀬橋西斜面のアジサイ植え付けに12人が参加

浅川ダム上流、一之瀬橋西側斜面の道路沿いをアジサイの花で飾ろうと「浅川花いっぱい会」「花花隊」の有志12人は、4月5日（月）斜面の雑草整備とアジサイを植樹しました。

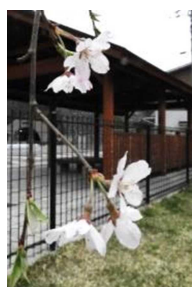


斜面の中段には「浅川花いっぱい会」によって昨年ラッパ水仙・アジサイなどが植えられています。今回アジサイを植えた場所はその上段で、参加者は道路沿いにシャベルで穴を掘りアジサイ30本を植えました。

## ダム展望広場彼岸桜4月4日19輪が満開、真光寺花モモ4月9日満開

浅川ダム展望広場西側の江戸彼岸桜1本に19個の花芽がつき、4月2日1輪が咲き、4月4日19輪全部に白い花が咲き満開になりました。また真光寺南の浅川沿い斜面に植えられた花モモは、4月9日、赤・白・ピンクの花が満開になりました。

真光寺の花モモは38本が植えられています。そのうち19本は同去の鶴田軍蔵さんによって挿し木から育てたシダレ花モモが植えられています。



## ハックルベリーの種蒔き、昨年を大幅に上回る収穫を目指す！

「ゆうわ祭」などで浅川産のハックルベリージャムを販売し好評を得ています。「チームフロンティア・浅川」では3月25日（木）5人が参加して真光寺浅川遊歩道沿いにハックルベリーの種蒔きを行いました。

この日は真光寺の浅川遊歩道沿い2カ所で耕した畑にハックルベリーの種を植えました。

ハックルベリー担当者は「肥料をまいたので今年は200kgの収穫量を目指している」と張り切っています。



## フジバカマ一部衰弱か！浅川ダム・フジバカマ苑で肥料を散布



「浅川ダム・フジバカマ苑」では昨年9月中旬にアサギマダラ蝶が飛来、見学者の目を楽しませていました。土質の影響か、一部のフジバカの株が縮小あるいは枯れる現象が生じています。

「フジバカマ苑」の手入れをしている「チームフロンティア・浅川」では5人が参加、3月23日（火）「浅川ダム・フジバカマ苑」250株のフジバカマに普通トラック2台分の肥料を散布しました。

## 浅川小ホテル住むビオトープ水路の石積みを積み直す

浅川小学校西校舎南のビオトープでは毎年ホテルが舞い児童たちが蛍の乱舞を楽しんでいます。ビオトープの水路の石積みが一部崩れている部分を「チームフロンティア・浅川」の笠原邦樹さんが積み直しました。

「チームフロンティア・浅川」はビオトープに毎年ホテルの幼虫とカワニナを放流、6月中旬から7月初旬にかけて児童たちは蛍の乱舞を楽しんでいます。

